

## ▼ B-6003



## 特長

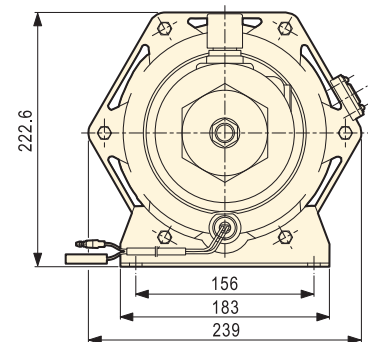
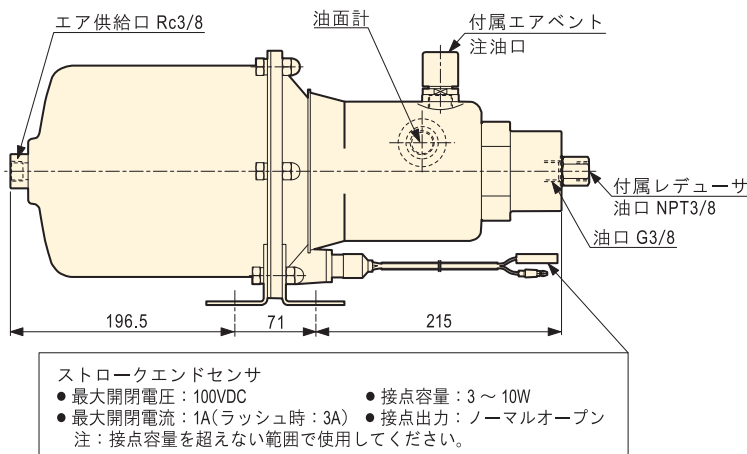
- 頑丈で耐久性がある、単動スプリング戻りワンショット型のエア hidroboost です。
- 加圧のみにエアを消費し、戻り側はスプリングリターンのため、エア消費量を大幅に削減できます。
- ストロークエンドセンサが標準装備されており、残油量が検知できます。
- ブースタのエアシリンダ内面に樹脂コーティングがされているのでドライエアで使用できます。
- 油圧ピストン部の特殊バルブにより、エアを排気すると素早くピストンが戻ります。
- 正確な油圧力調整がエア圧力の調整で容易にでき、精度の高い制御ができます。



## 注意

吐出油量が正常に出なかったり、圧力保持ができないことを避けるために、配管やシリンダ内のエア抜きを十分に行ってください。

## ▼ 寸法図 B-2009 / B-3006 / B-5003 / B-6003



注) ブースタは水平方向に取り付けて下さい。(垂直方向では使用できません。)

## 仕様

## エア hidroboost 共通仕様

形式	エア単動シリンダ(スプリング戻り)・ワンショット型
使用エア圧力範囲	0.05～0.7MPa
エア消費量 ※1	0.27m <sup>3</sup> /min・0.027m <sup>3</sup> /1 ストローク
推奨油温範囲	+15℃～+55℃
最大使用頻度	10回/min
油タンク容量	820cm <sup>3</sup> (有効油量 220cm <sup>3</sup> )
エアシリンダ内径	φ180mm
ピストンストローク	134mm

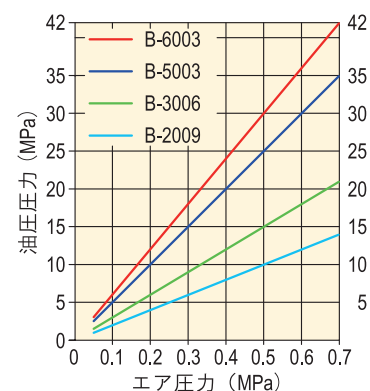
※1 エア消費量は使用エア圧力 0.7MPa 時の大気圧換算値です。

## ▼ 仕様表

型式	吐出油量 ※2 (cm <sup>3</sup> )	増圧比 (エア圧：油圧)	発生油圧(理論値) エア圧力 0.7MPa 時 (MPa)	油圧ピストン 直径 φ(mm)	ストロークエンドセンサ 作動時の残油量 (cm <sup>3</sup> )	質量 (kg)
B-2009	122	1：20	14	38	30	13.3
B-3006	81	1：30	21	31	20	13.7
B-5003	49	1：50	35	24	12	12.7
B-6003	41	1：60	42	22	10	13.0

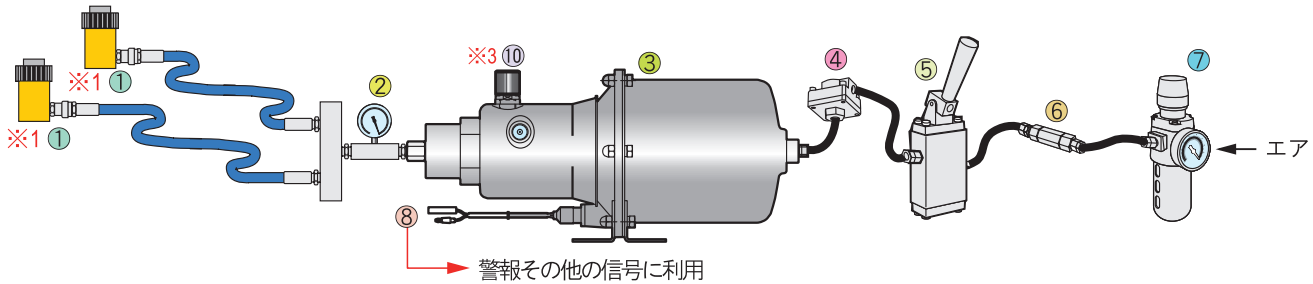
※2 圧力保持時間を考慮して、使用シリンダと配管やホースの必要油量合計が、ブースタ吐出量の 70%～80% を超えない範囲で使用してください。

## ▼ 発生油圧表

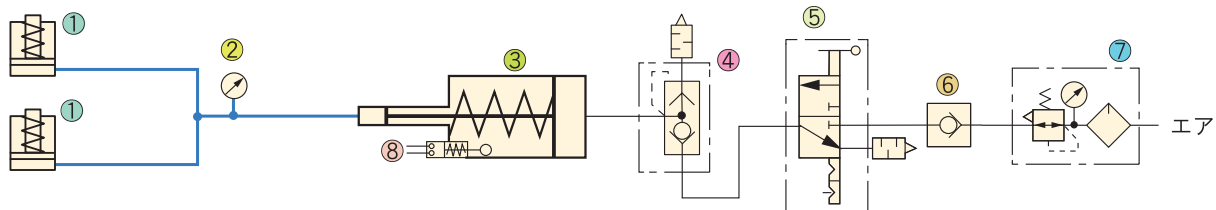


## B型エア hidroboost 使用例 (単動油圧シリンダ)

- ①単動油圧シリンダ※1 ②圧力計 ③B型ブースタ ④クイックエクゾーストバルブ ⑤エア切換弁 (手動・電磁弁)  
⑥チェック弁 ⑦エアフィルタレギュレータ ⑧ストロークエンドセンサ ⑩注油口



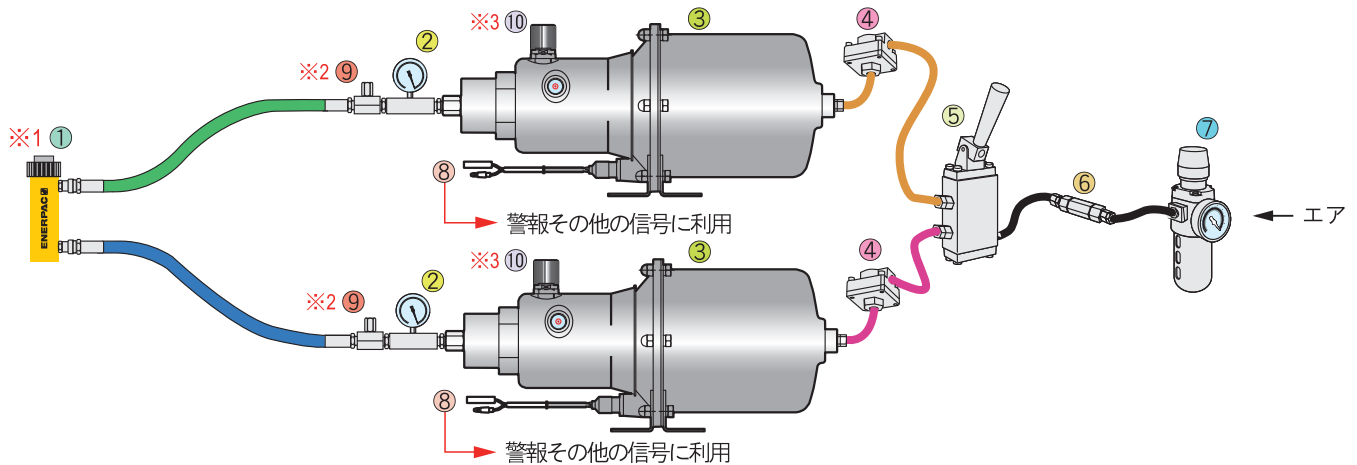
単動シリンダ用参考回路図



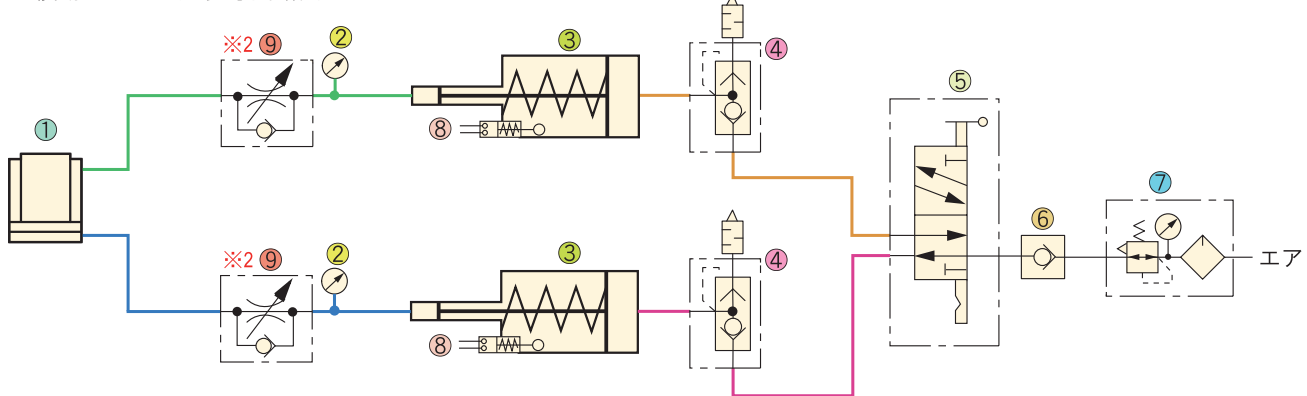
※1 使用シリンダ本数と配管やホースの必要油量合計が、ブースタ吐出量の70%～80%の範囲を超えないようにしてください。

## B型エア hidroboost 使用例 (複動油圧シリンダ)

- ①複動油圧シリンダ※1 ②圧力計 ③B型ブースタ ④クイックエクゾーストバルブ ⑤エア切換弁 (手動・電磁弁)  
⑥チェック弁 ⑦エアフィルタレギュレータ ⑧ストロークエンドセンサ ⑨流量制御弁 ⑩注油口



複動シリンダ用参考回路図



- ※1 使用シリンダ本数と配管やホースの必要油量合計が、ブースタ吐出量の70%～80%の範囲を超えないようにしてください。  
※2 押側ブースタの流速より引側ブースタの流速が遅くなるように、流量制御弁⑨を回路図のように使用して調整してください。  
※3 各ブースタの注油口 G1/2⑩に市販のオイルを取り付けることにより、シリンダ作動時やエア抜き時に油があふれず便利です。